

4 種雄豚の産肉能力後代検定成績について

1 背景と特徴

地域種豚生産家（団体を含む）の種豚選抜や繁殖時の選抜交配などの資料とするため、最近検定を終了したランドレース種雄豚の産肉能力検定を実施する。

2 技術の内容

産肉能力の判定結果 （昭和49年～51年度6頭 終了） ランドレース種

検定 №	名 号	飼 養 者	1日平均 増体重	飼 料 要求率	背腰長 II	コース 断面績	背脂肪 層の厚さ	ハムの 割合	総合 判定
35	フアーリアマルコ オスカー イサオ 4-6号	経済連 中央種豚場	B	D	C	B	B	B	B
44	ファンダブラムオ スカー イサオ 3-7号	種市町 水上種豚場	B	D	B	A	A	B	B
48	ルーランゴープリ ンスピル イサオ 1-7号	種市町 "	B	C	B	C	A	B	B
49	49オスクサクセ ス パーティン 4-5号	経済連 中央種豚場	B	C	B	C	A	B	B
50	アジューデントブ ラムカレル ウ 1-2号	盛岡市本宮 佐藤 一夫	B	C	B	A	B	C	B
51	オスカーボサナフ タミ 1-4号	種市町 原子内辰己	C	C	B	C	A	B	B

3 指導上の留意点

- 1) 1日平均増体重は検定豚30～90kgの間である。
- 2) 背脂肪層の厚さは肩、背、腰の3部の平均値である。
- 3) 検定季節は昭和48年より春検定、秋検定の区別なく年間を通じて実施に変わっている。

4 試験成績の概要

1) 試験課題名 豚の産肉能力比較(検定)試験

2) 試験年次及び場所 昭和49~51 岩手畜試

3) 試験方法

- ① 種雄豚産子検定に合格あるいは合格したことある種豚から生産された同腹子豚4頭(♀2♂2)を1組とする。
- ② 検定は1群2頭の子豚の平均体重が30kgに達したとき開始し、各調査豚が90kgに達した後、と殺解体して所定の調査を行い検定を終了する。
- ③ 検定豚は1豚房に2頭同性の群飼とし検定飼料により不断給餌とする。
- ④ 同一雄の交配により異なった種雌豚4腹から各1組、計4組16頭(♂8♀8)の検定を終了した場合、種雄豚の産肉能力を判定する。検定飼料はDCP13~14%、TDN70%の栄養水準である。

4) 試験結果

最近検定を終了したランドレース種雄豚の産肉能力検定の結果、それぞれの総合判定の結果を得た。

5) 主要成果の具体的データ

具体的資料 各種雄豚とも4組平均値

検定 No	30 kg 日令	90 kg 日令	1日平均 増体重	飼料 要求率	背腰長 II	ロース 断面積	背脂肪 層の厚さ	ハムの 割合	備 考
35	79日	158日	782g	3.68	69.9 cm	17.0 cm ²	2.5 cm	32.3%	b級3組 c級1組
44	92	174	744	3.80	70.3	20.0	2.3	32.5	b級3組 c級1組
48	81	158	786	3.56	71.8	17.4	2.2	32.3	a級1組 b級3組
49	80	163	746	3.42	71.2	17.9	2.3	32.4	a級2組 b級2組
50	76	159	742	3.47	70.6	19.4	2.6	31.6	b級2組 c級2組
51	67	154	706	3.55	71.6	17.8	2.3	32.3	a級1組 b級2組 c級1組

後代検定成績判定規準

項 目	A o r a	B o r b	C o r c	D o r d	E o r e
(1) 1日平均増体重 (9以上)	800	740	680	620	619以下
(2) 飼料要求率 (4内)	3.20	3.40	3.60	3.80	3.81以上
(3) ロースの長さ (cm以上)	72.0	70.0	69.0	68.0	67.9以下
(4) ロース断面積 (cm ² 以上)	19.0	18.0	16.0	14.0	13.9以下
(5) ハムの割合 (%以上)	33.0	32.0	31.0	30.0	29.9以下
(6) 脂肪層の厚さ (cm以内)	2.4	2.6	2.9	3.1	3.2以上

6) 残された問題点

5 参考資料

昭和51年度 試験成績概要書 岩手畜試